

感染症発生状況

平成30年3月8日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年2月26日（月）～3月2日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 551名

1日あたりの延べ欠席者数 110名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 99名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（234名）、咳・鼻水（27名）、下痢・腹痛（21名）、嘔気・嘔吐（12名）
疾病ごと インフルエンザ（196名）、おたふくかぜ（19名）、溶連菌感染症（18名）、
胃腸炎（7名）

おたふくかぜ、溶連菌感染症、頭シラミが気になります。
インフルエンザは最盛期の1/3となりましたが依然として流行中です。
それに伴い、風邪症状の方も多いです。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山、厨川、河南地区で減少。河北、盛南、都南地区で増加しました。

おたふくかぜ 河南、都南地区で減少。河北地区で増加しました。

溶連菌感染症 盛南、都南で減少。厨川、河南地区で増加しました。

胃腸炎 河北、盛南、河南地区で微増しました。

【県の状況（2/19～2/25）】

インフルエンザは県全体で3週続けて減少しましたが、前週より増加した地区（釜石）もあり、引き続き注意が必要です。中部及び釜石地区では警報値（定点あたり患者数30人）を超え、その他の地区でも注意報値（同10人）を超えています。今シーズン、年齢層別では60歳以上が13%と例年より多くなっています。手洗いや咳エチケットによる感染予防対策のほか、医療・福祉施設へのウイルスの持ち込みを防ぐため、症状のある方は訪問を自粛することも重要です。

感染性胃腸炎は、例年より低いレベルで推移していますが、保育園等で集団感染事例も発生しており、春にかけて報告数が増加することもあるので注意が必要です。予防には、せっけんと流水による手洗い及び患者の吐物や便の塩素系薬剤での処理が重要です。

3月1日から7日は子ども予防接種週間です。4月からの入園・入学に備えて必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】